



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月31日

上場会社名 日本システムウエア株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9739 URL <http://www.nsw.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 多田 尚二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員副社長 (氏名) 桑原 公生 (TEL) 03-3770-1111  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	14,343	1.9	883	26.1	900	24.6	617	33.5
28年3月期第2四半期	14,081	5.9	700	1.3	722	△3.0	462	2.1

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 594百万円( 28.7%) 28年3月期第2四半期 461百万円( 3.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	41.44	—
28年3月期第2四半期	31.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	20,862	14,617	70.1
28年3月期	21,018	14,151	67.3

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 14,617百万円 28年3月期 14,151百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年3月期	—	10.00			
29年3月期(予想)			—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	3.5	2,000	△1.0	2,000	△3.1	1,300	6.2	87.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	14,900,000株	28年3月期	14,900,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	230株	28年3月期	230株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	14,899,770株	28年3月期2Q	14,899,808株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値等が異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想に関する注記事項等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調を維持しつつも、中国をはじめとする新興国経済の減速や円高等の影響により、先行き不透明な状況で推移しました。

情報サービス産業界におきましては、国内経済の先行きに懸念はあるものの、金融業や製造業を中心にIT投資は引き続き堅調に推移しております。また、IoTやビッグデータ活用ニーズが拡大するとともに、AIやフィンテックなど新たなソリューションへの期待が高まってきております。

このような状況の下、当社グループは、今年度スタートした中期経営計画において事業変革を加速する「Drive Innovation」をスローガンに掲げ、「IoT分野の事業拡大」、「コア事業の顧客基盤強化と高付加価値化」に取り組んでおります。NSWグループの総合力と技術融合により、お客様のビジネスにイノベーションをもたらす価値創造パートナーとして持続的成長を遂げる企業を目指してまいります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は150億41百万円（前年同期比1.1%増）、売上高は143億43百万円（同1.9%増）、営業利益は8億83百万円（同26.1%増）、経常利益は9億円（同24.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億17百万円（同33.5%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の報告セグメント別の概況は、次のとおりであります。

#### <ITソリューション>

売上高につきましては、ソリューション事業における製造業向け、官公庁向け開発案件、ならびにシステム運用事業が増加し、増収となりました。利益につきましては、増収に伴う利益増、不採算案件の減少、開発計画の見直しなどにより、増益となりました。これらの結果、受注高は89億80百万円（前年同四半期比2.8%増）、売上高は85億57百万円（同6.1%増）、営業利益は3億11百万円（同211.6%増）となりました。

#### <プロダクトソリューション>

売上高につきましては、デバイス開発事業は堅調に推移したものの、組込みソフトウェア開発事業における通信インフラ分野の減少により、減収となりました。利益につきましては、減収に伴い減益となりました。これらの結果、受注高は60億61百万円（前年同四半期比1.3%減）、売上高は57億86百万円（同3.8%減）、営業利益は5億71百万円（同4.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、208億62百万円となり、前連結会計年度末比1億55百万円の減少となりました。これは主に、仕掛品の増加(3億21百万円)、現金及び預金の増加(2億44百万円)があったものの、受取手形及び売掛金の減少(8億2百万円)があったことによるものです。

総負債は、62億45百万円となり前連結会計年度末比6億20百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等の減少(2億81百万円)、賞与引当金の減少(1億44百万円)があったことによるものです。

純資産は、146億17百万円となり、前連結会計年度末比4億65百万円の増加となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、配当金の支払及び有形固定資産の取得などの支出を営業活動の結果得られた資金により賄い、前連結会計年度末と比べ2億44百万円増加し38億2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の活動別概況は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、7億19百万円(前年同四半期比6億2百万円の収入の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益9億円、売上債権の減少額8億3百万円、たな卸資産の増加額3億68百万円、法人税等の支払額5億3百万円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億33百万円(前年同四半期比1億96百万円の支出の増加)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1億83百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2億22百万円(前年同四半期比88百万円の支出の増加)となりました。これは、配当金の支払2億22百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年5月12日に発表しました業績予想に対し概ね計画通り進捗しており、変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値とは大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産の額との差額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加算しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、繰延税金資産(投資その他の資産)が94百万円、利益剰余金が94百万円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,557,361	3,802,177
受取手形及び売掛金	7,216,516	6,413,759
商品	201,810	248,648
仕掛品	723,042	1,044,761
貯蔵品	2,992	2,857
繰延税金資産	410,467	310,439
その他	191,126	269,863
流動資産合計	12,303,317	12,092,506
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,752,145	2,707,237
工具、器具及び備品(純額)	385,998	373,734
土地	3,861,051	3,861,051
その他(純額)	5,548	1,194
有形固定資産合計	7,004,744	6,943,217
無形固定資産		
ソフトウェア	77,429	63,202
その他	18,655	18,655
無形固定資産合計	96,085	81,857
投資その他の資産		
投資有価証券	104,997	111,716
繰延税金資産	564,439	677,282
その他	963,471	969,104
貸倒引当金	△18,562	△12,859
投資その他の資産合計	1,614,345	1,745,244
固定資産合計	8,715,174	8,770,319
資産合計	21,018,492	20,862,825

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,946,117	1,858,338
未払法人税等	576,836	295,437
未払消費税等	259,272	166,974
賞与引当金	884,305	739,923
工事損失引当金	14,283	—
その他	1,007,956	946,804
流動負債合計	4,688,772	4,007,478
固定負債		
役員退職慰労引当金	310,062	310,062
退職給付に係る負債	1,834,634	1,894,719
資産除去債務	33,215	33,507
固定負債合計	2,177,911	2,238,290
負債合計	6,866,684	6,245,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500,000	5,500,000
資本剰余金	86,080	86,080
利益剰余金	8,533,472	9,021,763
自己株式	△145	△145
株主資本合計	14,119,406	14,607,697
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,319	13,458
為替換算調整勘定	25,212	7,400
退職給付に係る調整累計額	△12,130	△11,499
その他の包括利益累計額合計	32,401	9,359
純資産合計	14,151,808	14,617,057
負債純資産合計	21,018,492	20,862,825



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	14,081,779	14,343,596
売上原価	11,835,516	11,936,777
売上総利益	2,246,262	2,406,819
販売費及び一般管理費		
役員報酬	72,070	60,562
執行役員報酬	42,967	55,902
給料及び賞与	736,776	678,390
退職給付費用	37,045	37,249
福利厚生費	139,988	125,993
通信交通費	73,673	70,012
業務委託費	79,551	87,136
賃借料	59,072	56,184
その他	304,848	352,282
販売費及び一般管理費合計	1,545,995	1,523,714
営業利益	700,267	883,104
営業外収益		
受取利息	85	218
受取配当金	1,138	997
受取保険金	7,500	—
保険配当金	2,192	4,387
助成金収入	5,414	4,400
その他	9,972	10,068
営業外収益合計	26,303	20,072
営業外費用		
支払利息	0	—
債権売却損	1,281	1,849
為替差損	2,648	741
その他	—	125
営業外費用合計	3,931	2,715
経常利益	722,639	900,461
特別損失		
固定資産除却損	6,238	190
特別損失合計	6,238	190
税金等調整前四半期純利益	716,401	900,270
法人税、住民税及び事業税	238,683	198,989
法人税等調整額	15,321	83,822
法人税等合計	254,004	282,812
四半期純利益	462,397	617,458
親会社株主に帰属する四半期純利益	462,397	617,458

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	462,397	617,458
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,173	△5,861
為替換算調整勘定	4,285	△17,811
退職給付に係る調整額	233	631
その他の包括利益合計	△655	△23,041
四半期包括利益	461,741	594,416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	461,741	594,416

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	716,401	900,270
減価償却費	228,001	253,029
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△78	△388
賞与引当金の増減額(△は減少)	△91,818	△144,382
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△16,193	△14,283
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	61,886	60,085
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3,179	—
受取利息及び受取配当金	△1,223	△1,216
支払利息	0	—
固定資産除却損	6,238	190
売上債権の増減額(△は増加)	794,935	803,146
たな卸資産の増減額(△は増加)	△275,719	△368,421
仕入債務の増減額(△は減少)	△179,107	△87,679
未払消費税等の増減額(△は減少)	△457,121	△92,297
その他	△188,495	△86,410
小計	594,527	1,221,642
利息及び配当金の受取額	1,223	1,216
利息の支払額	△0	—
法人税等の支払額	△479,083	△503,743
営業活動によるキャッシュ・フロー	116,666	719,115
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△37,208	△183,114
有形固定資産の売却による収入	22,754	—
無形固定資産の取得による支出	△8,189	△1,780
投資有価証券の取得による支出	—	△15,876
敷金及び保証金の差入による支出	△2,556	—
敷金及び保証金の回収による収入	1,881	1,340
保険積立金の積立による支出	—	△8,596
その他	△14,197	△25,557
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,516	△233,585
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△23,156	—
配当金の支払額	△111,552	△222,902
財務活動によるキャッシュ・フロー	△134,709	△222,902
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,285	△17,811
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△51,273	244,815
現金及び現金同等物の期首残高	2,516,189	3,557,361
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,464,916	3,802,177

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	I T ソリューション	プロダクト ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	8,087,598	5,994,180	14,081,779
セグメント間の内部売上高又は振替高	△22,370	22,370	—
計	8,065,228	6,016,551	14,081,779
セグメント利益	99,882	600,384	700,267

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	I T ソリューション	プロダクト ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	8,538,839	5,804,756	14,343,596
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,340	△18,340	—
計	8,557,180	5,786,416	14,343,596
セグメント利益	311,241	571,863	883,104

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。